

2025 年看護職員実態調査

調査専用サイトにアクセスしていただき、ありがとうございます。

<回答を始める前に>

【実績データ等の事前準備について】

- ・質問には 基本給額や税込給与総額、勤務シフトなどの実績データをお尋ねするものがあります。ご回答の前に、「2025 年 9 月支給分の給与明細書」、「2025 年 9 月の勤務表」をご用意ください。
- ・ご不明な点は「よくある質問(FAQ)」のページをご確認ください。

<回答にあたってのお願い等>

- ・本調査票の回答締切りは 2025 年 10 月 15 日(水) です。
- ・期日や期間の指定のない質問については、2025 年 10 月 1 日時点の状況をご回答ください。
- ・10 月 1 日時点の状況が把握しづらい場合は、直近の状況についてご記入ください。
- ・特に指定のない質問については、現在の主な勤務先についての状況をご回答ください。
- ・ご回答には 20～30 分程度の時間を要すると見込まれます。回答を途中で中断しても、回答内容は保存され、後日回答を再開することができます
- ・本調査は Q37 までありますが、設問によっては、回答に応じて表示される設問が異なる場合があるため、設問番号が連番にならない場合があります(事前に確認されたい方は、「調査票」のページをご確認ください)。
- ・その他不明な事項等については、「よくある質問(FAQ)」のページをご確認ください。

【ID・パスワードについて】

- ・回答される前に、ID とパスワードをご用意ください。
 - ※ID・パスワードは、「ご協力について」と共にお送りした「回答要領」に記載されています。
 - ※ID・パスワードは半角でご入力ください。
 - ※ID・パスワードは、貴方の回答内容を保存し、回答を中断した場合にも途中から回答を再開したり、別の回答に差し替え(上書き)できるようにするためのものであり、個人が特定されることはございません。
 - ※ID・パスワードは、調査業務の外部委託業者においてのみ管理し、日本看護協会が照会・照合することはありません。
- ・ID・パスワードが分からなくなった場合は、調査専用サイトの「よくある質問(FAQ)」をご確認ください。

ID とパスワードを忘れた方はこちらの URL にアクセスし、再発行手続きをお願いいたします。

<https://survey.intage-research.co.jp/m/kango>

【倫理的配慮について】

- ・本調査は日本看護協会研究倫理委員会による倫理審査を受け、承認されています。
- ・本調査は自由意思によるご協力であり、ご協力いただけない場合にも、不利益が生じることはございません。
- ・ご回答いただきました内容は、本会と個人情報保護(機密保持)の契約を締結している委託業者によって集計され、個人を特定できないよう統計処理いたします。
- ・外部の研究者と本会が共同し分析・公表する場合があります。その場合でも、個人を特定できないような統計処理を行います。

別紙「2025 年看護職員実態調査 説明文書」をご一読の上、調査にご協力いただける場合は「同意します」を選択してください。

1. 研究実施について
2. 研究機関
3. 研究の目的及び意義
4. 研究方法および期間
5. 研究対象者として選定された理由
6. 研究対象者に生じる負担と、予想されるリスクおよび利益
7. 同意の撤回ができること
8. 研究に同意しない、または同意撤回を行うにおいて不利益がないこと
9. 研究に関する情報公開について
10. 研究計画書等の閲覧について
11. 個人情報の取扱いについて
12. 試料・情報の保管及び廃棄の方法
13. 研究資金および利益相反について
14. 研究より得られた結果の取り扱い
15. 相談の窓口
16. 情報の将来の研究における使用および他機関への提供
17. 経済的負担／謝礼について

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける場合は、実績データ等をご準備のうえ、回答を開始してください。

ID、パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

注意事項

前の設問に戻る場合は、必ず画面下部の「戻る」ボタンをご利用ください。

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

2025年 看護職員実態調査 調査票

◆ 説明文書の内容に同意いただいた場合は、以下の「同意します」を選択してください。

- 調査の趣旨を理解し、回答に同意します
 同意しない

【あなたご自身のことについて伺います】

Q1 勤務先のある都道府県をお答えください。離職中の方は、お住まいの都道府県をお答えください。

[選択は1つ]

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 岡山県 |
| <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 広島県 |
| <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 山口県 |
| <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 徳島県 |
| <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 香川県 |
| <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛媛県 |
| <input type="radio"/> 福島県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 高知県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 三重県 | <input type="radio"/> 福岡県 |
| <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 佐賀県 |
| <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 熊本県 |
| <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 大分県 |
| <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 宮崎県 |
| <input type="radio"/> 神奈川県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 沖縄県 |
| <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 島根県 | |

Q2 年齢をお答えください。

歳

Q3 性別をお答えください。[選択は1つ]

- 女性 男性

Q4 取得免許について伺います。あなたが取得されている免許をすべてお答えください。[あてはまるものすべてを選択]

- 保健師 助産師 看護師 准看護師

Q5 現在の主な業務をお答えください。[選択は1つ]

- 保健師 准看護師 その他
 助産師 看護教員 離職中(定年退職含む)
 看護師

<取得されている免許が「保健師」「助産師」「看護師」と回答された方に伺います>

Q5_1 あなたが取得されている資格等をすべてお答えください。[あてはまるものすべてを選択]

- 専門看護師 認定看護師 特定行為研修修了者
 認定看護管理者 アドバンス助産師 いずれも取得していない

Q6 あなたの最終学歴について伺います。一般学歴・専門学歴それぞれについて、最後に卒業した学校をお答えください。[それぞれ選択は1つ]

※外国の学校を卒業した場合も含まれますが、在学中及び中途退学は、最終学歴にはなりません。

(A)一般学歴

- 中学校
- 高等学校(高校衛生看護科含む)
- 短期大学(看護系短大含む)
- 大学(看護系大学含む)
- 大学院修士課程(看護系大学院含む)
- 大学院博士課程(看護系大学院含む)

(B)専門学歴

- 准看護師養成所
- 看護師2年課程(専攻科含む)
- 看護師3年課程
- 看護師5年一貫教育校
- 保健師養成所
- 助産師養成所
- 看護系大学
- 看護系大学院修士課程
- 看護系大学院博士課程

<取得されている免許が「助産師」と回答された方に伺います。>

Q6_1 あなたが修了した助産師の養成課程をお答えください。[選択は1つ]

- 大学院(修業年限:2年)
- 大学(修業年限:4年、学士教育課程での選択課程)
- 大学専攻科(修業年限:1年)
- 大学別科(修業年限1年)
- 短期大学専攻科(修業年限:1年)
- 専修学校(修業年限:1年)
- 各種学校(修業年限:1年)
- その他

<取得されている免許が「保健師」と回答された方に伺います。>

Q6_2 あなたが修了した保健師の養成課程をお答えください。[選択は1つ]

- 大学院(修業年限:2年)
- 大学(修業年限:4年、学士教育課程での選択課程)
- 大学専攻科(修業年限:1年)
- 大学別科(修業年限1年)
- 短期大学専攻科(修業年限:1年)
- 専修学校(修業年限:1年)
- 各種学校(修業年限:1年)
- その他

Q7 現在の勤務状況をお答えください。[選択は1つ]

- 自営業
- 正規雇用職員(フルタイム)
- 正規雇用職員(短時間勤務)
- 臨時職員・嘱託職員・派遣社員・契約社員・パートタイマー・アルバイト
- 産休中・育児休業中
- 介護休業中
- その他休暇・休業中(産休・育休・介護休業を除く)
- 離職中(定年退職を含む)

Q8 現在の職位をお答えください。[選択は1つ]

- 非管理職(一般の保健師、助産師、看護師、准看護師、専任教員等)
- 中間管理職(看護師長、副看護師長、主任、保健所・都道府県・市区町村の係長、学科長、教務主任等)
- 管理職(看護部長、総師長、副看護部長、訪問看護ステーション・福祉施設等の所長、学部長、都道府県・市区町村の課長等)

Q9 現在の勤務先をお答えください。[選択は1つ]

※社会福祉施設であると同時に病院の許可を受けている場合は「病院」を選択してください。

- | | |
|---|---|
| <input type="radio"/> 病院 | <input type="radio"/> 地域包括支援センター・在宅介護支援センター |
| <input type="radio"/> 診療所 | <input type="radio"/> 介護老人福祉施設 |
| <input type="radio"/> 助産所 | <input type="radio"/> 介護老人保健施設 |
| <input type="radio"/> 保健所・市区町村保健センター | <input type="radio"/> ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム |
| <input type="radio"/> 省庁・都道府県・市区町村(福祉・環境部門含む) | <input type="radio"/> その他の居宅サービス事業所 |
| <input type="radio"/> 検(健)診センター・労働衛生機関 | <input type="radio"/> その他の社会福祉施設 |
| <input type="radio"/> 企業・事業所の健康管理部門 | <input type="radio"/> 看護系教育研究機関(養成所、大学等) |
| <input type="radio"/> 学校・幼稚園・保育所等 | <input type="radio"/> その他(具体的に:) |
| <input type="radio"/> 訪問看護ステーション | |

<Q9 で現在の勤務先を「病院」と回答された方に伺います>

Q9_1 病院の設置主体、病床数、配属先をお答えください。[それぞれ選択は1つ]

(A) 設置主体

- 国立(労働者健康安全機構、地域医療機能推進機構を含む)
- 公立(一部事務組合、地方独立行政法人、公立大学法人を含む)
- 日本赤十字社
- 済生会
- 厚生農業協同組合連合会
- 北海道社会事業協会
- 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
- 公益社団法人、公益財団法人
- 私立学校法人
- 医療法人(社会医療法人を含む)
- 社会福祉法人
- 医療生協
- 会社
- その他の法人(一般社団法人、一般財団法人、宗教法人等)
- 個人

(B) 病床数

- 99 床以下
- 100~199 床
- 200~299 床
- 300~399 床
- 400~499 床
- 500 床以上

(C) 配属先

※病棟外来一元化を行っている病院の場合は、主に勤務を行う場所を選択してください。

- 病棟(集中治療室を除く)
- 集中治療室(ICU,HCU,MFICU 等)
- 外来
- 入退院支援部門
- 訪問看護部門
- 上記以外(手術部門、検査部門、看護管理部門等)

Q9_2 あなたの勤務先での働き方について、あてはまるものをお答えください。また、今後実施してみたい・興味がある働き方について、あてはまるものをお答えください。[あてはまるものすべてを選択]

	院内で複数の部署、役割を兼務している (病棟と外来を兼務等)	同じ法人内の別の医療機関、施設等と 兼務している	他の医療機関、施設等に出向している (現在の勤務先に籍を置きながら、期間限定 で他の施設・機関で看護業務を行っている)	特定領域の専門性を活かし、 院内でコンサルテーションを実施	特定領域の専門性を活かし、 院外でコンサルテーションを実施	患者宅への訪問を実施(オンライン含む)	院外への出前授業や講義を実施	その他(具体的に：)	あてはまるものはない(一部署勤務のみ)
現在の働き方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後実施してみたい・ 興味がある働き方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<助産師資格保有者で、かつ勤務先を「病院」又は「診療所」と回答された方に伺います>

Q10_1 現在の勤務先は分娩取扱い施設ですか。[選択は1つ]

はい いいえ

Q10_2 現在の配属先は産科関連(混合病棟を含む)ですか。[選択は1つ]

はい いいえ

Q10_3 あなたの勤務する施設では、アドバンス助産師への手当はありますか。[選択は1つ]

はい いいえ わからない

Q10_4 あなたの勤務する施設では、こども家庭庁が推進しているプレコンセプションケア(女性やカップルを対象として、将来の妊娠のための健康を促す取組のこと)に助産師が関わっていますか。[選択は1つ]

はい いいえ わからない 施設でプレコンセプションケアを行っていない

【職歴について伺います】

Q11 現在の勤務先での勤続年数は何年目(1年未満の方は何か月目)ですか(産休・育休等期間も含みます)。

- 勤続1年以上 ⇒ 勤続 年目
○勤続1年未満 ⇒ 勤続 か月目

Q12 看護職員としての通算経験年数は何年目になりますか(臨床以外の年数や産休・育休等期間も含みます。離職期間は含みません)。

- ※現在、離職中の方は離職した時点での年数でお答えください。
※最初に看護職員として入職した年を「1年目」としてお答えください。
年目

Q13 あなたは転職した経験がありますか。転職した経験がある方は、これまでに所属した勤務先の数をご記入ください。[選択は1つ]

- ※看護職員として最初に就職した勤務先も含みます。人事異動による部署の変更や、同一法人内の人事異動は除きます。人材派遣会社に登録して複数の職場で働いた場合は、派遣登録した企業を「1」と数えてください。
○転職経験なし
○転職経験あり ⇒ これまでに所属した勤務先数 か所

<Q13で「転職経験あり」と回答された方に伺います>

Q13_1 直近の転職を行った際の、就職したきっかけをお答えください。[あてはまるものすべてを選択]

- 転職先のホームページでの求人募集をみて
 ナースセンターからの紹介
 ハローワーク(公共職業紹介所)からの紹介
 友人・知人からの紹介
 新聞・チラシ等の求人広告をみて
 民間の職業紹介事業者からの紹介
 民間の就職・求人情報サイトをみて
 その他(具体的に:)

【職場(所属部署)の労働条件について伺います】

Q14 就業規則で定められた1週間あたりの所定労働時間は何時間ですか。休憩時間や超過勤務時間を除いた所定労働時間をお答えください。

※法定労働時間は週 40 時間以内です。ただし、従業員 9 人以下の保健衛生業に限り、週所定労働時間が 40 時間を超え、44 時間まで認められる特例措置が適用されます。

※「40 時間」「38 時間」などの場合、「分」の欄には 0 または 00 と入力ください。

週 時間 分

Q15 あなたは 2025 年 9 月の 1 か月間に、超過勤務(時間外勤務)をしましたか。超過勤務をした場合は、超過勤務時間数をお答えください。[選択は 1 つ]

※超過勤務には、着用を義務付けられた所定の服装への着替え、業務上義務付けられている研修・教育訓練の受講や指示を受けての学習・研究、患者情報の確認などの始業前勤務(前残業)などを含みます。

※超過勤務を申請した時間数や申請が認められた時間数ではなく、実際に働いた時間数をお答えください。

※「10 時間」などの場合、「分」の欄には 0 または 00 と入力ください。

超過勤務をした ⇒ 超過勤務時間 時間 分

超過勤務をしなかった

<Q9 で現在の勤務先を「病院」と回答し、かつ Q15 で「超過勤務をした」と回答した方に伺います>

Q15_1 2025 年 9 月 1 か月間の超過勤務時間(時間外)で行った業務の内容は何ですか。[あてはまるものすべてを選択]

患者への直接的な看護の提供(診療の補助、療養上の世話、患者からの相談、患者への療養指導等)

看護提供のための付随的な業務(準備・片づけ、環境整備、請求、事務作業等)

患者に関する情報収集(始業前残業含む)

看護記録の記載(基礎情報、看護計画、経過記録、要約、クリニカルパス)

各種書類の作成(看護情報提供書、各種アセスメントシート、インシデントレポート・事故報告書等)

医師の指示確認・待機、医師との報告・連絡・相談等

医師以外の他職種・他機関との連携・調整

業務上必要な研修・教育訓練

緊急時の対応(急変対応、予定外入院等)

係・委員会活動

勤務先の指示で行う看護研究

会議出席

看護管理関連業務(日報作成、ベッドコントロール、業務分担の割り振り、勤務表の作成、他部門・他職種との連絡・調整等)

その他(具体的に: _____)

<Q7 で現在の勤務状況を「正規雇用職員(フルタイム)」「正規雇用職員(短時間勤務)」と回答した方に伺います>

Q16_1 就業規則で定められた週休をお答えください。[選択は1つ]

- 完全週休2日制 ※完全週休 2 日制とは、毎週ごとに休日が 2 日ある制度をさします。
- 4週8休制
- 月3回週休2日制(4 週 7 休制含む)
- 月2回週休2日制(4週6休制含む)
- 月1回週休2日制(4週5休制含む)
- 週休1日半制(土曜日等の半日勤務)
- 週休1日制
- その他(具体的に: _____)

Q16_2 2025年9月の1か月間の勤務で、暦日(0時から24時)で2連休以上の連休(有給休暇、夏季休暇を含む。病気休暇は含めない)は何回ありましたか。

回

【有給休暇について伺います】

Q17 昨年度(2024 年度)に取得した有給休暇についてお答えください。有給休暇とは別に定められている年末年始の休暇や、夏季休暇などは除いてお答えください。

※昨年度(2024 年度)付与された所定有給休暇日数には、前年度からの繰り越し分は含みません(通常は多い人で 20 日前後です)。

※昨年度(2024 年度)に消化した有給休暇日数には、前年度からの繰り越し分を含みます。よって、昨年度(2024 年度)付与された所定有給休暇の日数を上回る場合があります。

- (1) 昨年度(2024 年度)付与された所定有給休暇日数 日(整数で)
- (2) 昨年度(2024 年度)に消化した有給休暇日数 日(整数又は小数点第一位まで)

Q18 あなたの職場では、有給休暇を希望どおりに取得することができますか。[選択は1つ]

- できる
- ある程度できる
- あまりできない
- できない

【あなたの賃金について伺います】

Q19 あなたの(1)基本給額、及び(2)税込給与給額を月額でお答えください。時給で支払いを受けている方は(3)時給額のみお答えください。(できたら 2025年9月支給分の給与明細書をご用意ください)

※自営業主の方は、必要経費を差し引いた実収入額を月平均になおし、税込給与総額として(2)の項だけお答えください。

- (1) 基本給額(月額) 円
- (2) (1)に調整手当・夜勤手当・住宅手当・育児手当等の諸手当を含めた税込給与総額(2025年9月支給分) 円
- (3) 時給額(1時間あたり) 円

【夜勤・交代制勤務について伺います】

Q20 2025 年 9 月の 1 か月間のあなたの夜勤・交代制勤務として、主なものを1つお答えください。

[選択は1つ]

- 職場(配属部署)に夜勤はない
- 職場(配属部署)に夜勤はあるが現在はしていない(日勤のみ)
- 3交代制
- 変則3交代制(日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの)
- 2交代制(夜勤1回あたり16時間以上)
- 2交代制(夜勤1回あたり16時間未満)
- 夜勤専従
- 当直制(当直室等で仮眠しながら緊急時に備えるもの)
- 管理夜勤・当直
- オンコール(自宅や寮等で待機し、緊急時の呼び出しに応じて勤務につくもの)
- その他の夜勤体制(具体的に:)

<Q20 で「3交代制」「変則3交代制」「2交代制(夜勤1回あたり16時間以上)」「2交代制(夜勤1回あたり16時間未満)」「夜勤専従」と回答された方に伺います>

Q20_1 2025 年 9 月の勤務表上の夜勤回数と夜勤時間をお答えください。

注: 夜勤時間には超過勤務時間を含めずにお答えください

2025 年 9 月の夜勤回数

3交代制の場合 準夜勤 回/月 深夜勤 回/月
2交代制の場合 回/月

2025 年 9 月の夜勤時間合計 時間/月

Q20_2 所属施設で、夜勤中の休憩時間・仮眠時間について規程(就業規則等に具体的な時間等が書かれている)がありますか。[選択は1つ]

- ある ⇒ 規程上の1回の勤務における休憩時間(仮眠時間含む) 分
- ない
- わからない

Q20_3 2025 年 9 月中の夜勤で、実際に取った休憩時間(仮眠時間含む)は勤務1回につきおおよそ何分程度でしたか。(もっとも頻度が多かった時間を回答してください)[選択は1つ]

- 60分未満
- 60分以上90分未満
- 90分以上120分未満
- 120分以上150分未満
- 150分以上180分未満
- 180分以上

<Q20 で「職場(配属部署)に夜勤はない」「職場(配属部署)に夜勤はあるが現在はしていない(日勤のみ)」と回答された方に伺います>

Q20_4 あなたが夜勤をしていない最も大きな理由をお答えください。[選択は 1 つ]

- 子どもの世話
- 家族の健康問題・介護
- 健康上の理由(身体的なもの)
- 健康上の理由(精神的なもの)
- 知識や技術・経験が十分でないため
- 看護管理者の職位にあるため
- 妊娠中のため
- その他(具体的に:)
- 特になし

Q21 あなたにとって、夜勤を担うことができる、あるいは夜勤を続けることを可能とする対応や条件について、あてはまるものを上位 3 つまで選択して下さい。[選択は 3 つまで]

- 月あたりの夜勤回数を選択できる
- 夜勤を行う時間帯を選択できる
- 夜勤を行う曜日を選択できる
- 1 回あたりの夜勤時間数を選択できる
- 夜勤明けの翌日が必ず休日のシフトとなる
- 夜勤を担う職員は日勤のみの勤務よりも労働時間が短縮される(所定労働時間の短縮、特別休暇の付与等)
- 夜勤中に十分な休憩・仮眠が確保できる
- 夜勤後は定時に退勤することができる
- 納得感のある夜勤手当が支給される
- 夜勤回数が増えるほど、夜勤手当の増額または夜勤手当以外の手当が支給される
- 24 時間対応の保育施設の整備
- その他(具体的に:)
- どのような条件が整っても夜勤はできない
- 必要な対応や条件は特になし

【今後の働き方について伺います】

Q22 あなたは今後も看護職として働き続けたいと思いますか。[選択は1つ]

- とてもそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- わからない

Q23 あなたは下記のような看護の職場で働くことに関心がありますか。[あてはまるものすべてを選択]

- 病院
- 診療所
- 訪問看護ステーション
- 看多機(看護小規模多機能型居宅介護)
- 訪問看護・看多機以外の在宅領域
(定期巡回・随時対応型訪問介護看護、有料老人ホーム、訪問入浴介護 等)
- 介護保険・通所サービス系(療養通所介護 等)
- 介護保険・施設サービス系(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護医療院 等)
- 助産所
- 障害・福祉施設
- 学校・幼稚園・保育所等
- 地域保健(市町村、保健所等)
- 産業保健
- 看護系教育研究機関(養成所、大学等)
- その他(具体的に:)

Q24 今後、それらの職場に転職するにあたってあなたが必要とする支援等がありますか。[あてはまるものすべてを選択]

- 自身に合ったキャリアプランの相談と実現に向けた支援が受けられること
- 人事交流・出向等により、仕事の体験ができること
- 現にその領域で働く看護職から話を聞けること
- 希望する仕事内容、労働条件等と転職先の条件とをマッチングしてくれること
- 当該領域に関する研修や技能訓練を受けることができること
- その他(具体的に:)
- 必要とする支援等はない

Q25 看護職として働き続けるために重要視することについて、あてはまるものを上位 3 つまで選択して下さい。[選択は3つまで]

- 希望する働き方ができる
- 業務や役割、責任に見合った賃金額である
- 休みがとりやすい
- 時間外労働(残業)が少ない
- 看護業務に専念でき、ケアに十分な時間をあてられる
- 職場の人間関係が良い
- 育児・介護との両立がしやすい
- 治療との両立がしやすい
- 教育・研修が充実している
- 特定の看護領域で従事できる
- 看護技術の向上が望める
- その他(具体的に:)
- 特になし

【自身が希望する働き方について伺います】

Q26 看護職として働き続けるために、あなたが希望する働き方はありますか。[あてはまるものすべてを選択]

- 短時間勤務
- 日勤のみ
- 夜勤回数や夜勤時間、曜日が選択できる
- 異動がない／希望どおりの部署で働ける
- 希望の専門領域・部署で働ける
- 転勤がない(転勤がある場合のみ)
- 定時をずらした勤務ができる
- 夜勤のみ
- 進学やボランティア等のための長期(3か月～1年程度)の休職制度がある
- 週休三日制
- 管理業務やオンライン研修は在宅勤務が可能である
- その他(具体的に:)
- なし

【あなたの働いている状況について伺います】

Q27 現在の主な勤務先での業務とは別に、他の仕事をしていますか。[あてはまるものすべてを選択]

- 看護業務以外の仕事をしている
- 他の医療機関・施設等で看護業務を行っている
- 自身が就業している医療機関・施設で休日、あるいは勤務時間以外に看護業務を行っている
- していない

<Q27 で「他の医療機関・施設等で看護業務を行っている」「自身が就業している医療機関・施設で休日、あるいは勤務時間以外に看護業務を行っている」と回答した方に伺います>

Q27_1 他の仕事をしている理由をお答えください。[あてはまるものすべてを選択]

- やりがいを得るため
- 収入を増やすため
- 看護職としてのスキルアップのため
- 看護職としてのキャリア形成のため
- 他の仕事をする時間があるため
- その他(具体的に:)

Q28 今後、複数の仕事をもつことに興味がありますか。[選択は1つ]

- ある
- ない
- わからない

<Q28 に「ある」と回答された方に伺います>

Q28_1 どの働き方に興味がありますか。[あてはまるものすべてを選択]

- 多様な場所(医療機関・施設等)で看護業務を行う
- 看護業務以外の仕事

【暴力・ハラスメントの実態と対策について伺います】

Q29 この1年間に、就業先において、あなた個人に対する暴力や暴言、性的な言動、就業環境が害されるような言動など、ハラスメントだと感じる言動をされたことがありますか(患者の病状やせん妄などを原因とする言動も含みます)。**[選択は1つ]**

- ある
- ない

<Q29で「ある」と回答した方に伺います>

Q29_1 暴力・ハラスメントだと感じた言動の内容はどのようなものでしたか。また、誰から受けましたか。**[それぞれあてはまるものをすべて選択]**

	ある								ない
	患者・利用者	家族 患者・利用者の	上司(看護職)	同僚(看護職)	部下(看護職)	医師	他職種	関係機関の職員 (所属施設外)	
意に反する性的な言動(性的な冗談やからかい、食事やデートへのしつような誘い、身体への不必要な接触等)	<input type="checkbox"/>								
身体的な攻撃(暴行・傷害。例えば、蹴る、胸ぐらをつかむ、物を投げつける等)	<input type="checkbox"/>								
精神的な攻撃(脅迫・暴言等。例えば、同僚の前で無能扱いする、必要以上に長時間にわたり繰り返し叱る等)	<input type="checkbox"/>								
人間関係からの切り離し(隔離・仲間外し・無視。例えば、挨拶しても無視される、根拠の無い悪い噂を流される等)	<input type="checkbox"/>								
過大な要求(業務上の明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害。例えば、終業間際に過大な仕事を毎回押しつけら	<input type="checkbox"/>								
過小な要求(業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと)	<input type="checkbox"/>								
個の侵害(私的なことに過度に立ち入ること。例えば、個人のスマホを勝手にのぞく、休みの理由をしつこく聞く等)	<input type="checkbox"/>								

Q29_2 Q29の暴力やハラスメントだと感じた言動を受けた際(複数回の場合は、最も深刻だと感じたものについてお答えください)、上司や組織に相談しましたか。**[選択は1つ]**

- 相談した
- 相談していない

<Q29_2で「相談した」と回答した方に伺います>

Q29_2_1 相談対応やその後の支援に満足できましたか。**[選択は1つ]**

- 満足できた
- 満足できなかった

【患者・家族からの暴力や暴言、性的な言動などのハラスメントについて伺います】

Q30 患者やその家族からの暴力や暴言、性的な言動等などのハラスメントに対して、組織にどのような取り組みや支援があればよいと考えますか。[あてはまるものすべてを選択]

- ハラスメントに関する職員の意識の統一
- 組織が、ハラスメントは許さないといった毅然とした態度や宣言
- 入院時や契約時等に、ハラスメントに該当する内容やハラスメントを受けた際にどのような対策を講じるのか患者・利用者・家族へ説明する時間がある
- ハラスメントを受けた際、すぐに相談できる窓口がある
- ハラスメントを受けた後、患者・家族に対応してくれる専門チームが組織内にある
- ハラスメントを受けた際、警備員等がすぐに関わってくれる
- ハラスメントを受けた後の対応をチーム内で相談・検討することができる
- その他(具体的に:)

<Q9 で現在の勤務先を「病院」と回答された方に伺います>

【看護記録についての業務の状況について伺います】

Q31_1 あなたが行っている記録に関する業務について、時間を要するものは何ですか。上位 3 つまで選択してください。[選択は 3 つまで]

- 入院時基本情報
- 入院時の看護診断、初期計画の立案
- 看護計画の評価、見直し
- 経過記録(看護を必要とする人の意向や訴え、健康問題、治療・処置、看護実践等経過を記録したもの)
- 熱型表(体温表、三測表)
- クリニカルパス
- 院内記録としての退院時サマリー
- 看護情報提供書(他施設と情報共有するための記録)
- 褥瘡・創傷評価、転倒・転落等のアセスメントシート
- 身体拘束を行う際の記録(診療報酬上記録を求められている記録)
- 看護必要度 B 項目の測定
- 看護必要度 B 項目の評価票による評価の他に、根拠となる記録の作成
- インフォームド・コンセントに関する記録
- カンファレンスの記録
- インシデントレポート・事故報告書
- その他(具体的に:)

Q31_2 Q31_1 で選択した業務に、時間を要する理由は何ですか。[あてはまるものすべてを選択]

- 記録・書類作成の対象となる患者が多いため
- 記録・書類の種類が多いため
- 記録の細かいルールや記載項目が多く、手間がかかるため
- 同じ内容を複数の書式に記載する必要があるため
- 電子カルテの操作性が悪い(レイアウトがわかりづらい、レスポンスが遅いなど)ため
- 患者への直接的な看護の提供を優先して記録・書類作成が後回しになり、思い出しながら記載するため
- 記録の記載基準が明確になっていないため
- 自身が記録・書類へ記載すべき内容をうまく整理できないため
- その他(具体的に:)

【看護協会の入会年数について伺います】

Q32 通算で何年ご入会されていますか(おおよそで結構です)。**[選択は1つ]**

- 1～2年
- 3～5年
- 6～10年
- 11～20年
- 21～30年
- 31年以上

【看護協会への入会動機について伺います】

Q33 看護協会に入会した動機・きっかけは何ですか。**[あてはまるものすべてを選択]**

- 看護協会の活動に賛同したから
- 専門職として職能団体に入会するのは必要だから
- 研修を受講したいから
- 学会に参加したいから
- 看護職賠償責任保険に加入したいから
- 看護協会の事業に参加したいから
- 会員サービスを受けたいから(会員サービス名:)
- 看護学生の時に教員から看護協会の役割・活動を聞いていたから
- 看護学生の時に看護協会から看護協会の役割・活動を聞いていたから
- 上司・先輩が入会していたから
- 上司・先輩からの入会の働きかけがあったから
- 同僚・友人が入会していたから
- 同僚・友人からの入会の働きかけがあったから
- その他(具体的に:)

【看護協会の活動やサービスについて伺います】

Q34 日本看護協会の活動や提供しているサービスの中でよいと思うものは何ですか。**[あてはまるものすべてを選択]**

- 看護政策実現のための活動(処遇や労働環境の改善に関する意見提出など)
- 看護職の倫理綱領、看護業務基準等の作成
- 看護業務に関するガイドラインやマニュアルの作成(夜勤・交代制勤務ガイドラインなど)
- 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の認定や制度運用
- 災害・感染症時の支援活動
- 看護に係る調査の実施と結果の公表
- 看護の日・看護週間の実施
- 国際看護師協会(ICN)などとの協働(グローバルな課題への取り組み)
- 各種研修の提供
- 日本看護学会学術集会の開催
- 図書館サービスの利用(最新看護索引 Web 含む)
- 看護職賠償責任保険の運営
- 協会ニュースや SNS などによる広報活動
- キャリナースの提供
- 奨学金制度の運営
- その他(具体的に:)
- 特になし

Q35 日本看護協会の会員でない看護職が、今後新たに入会するためのより良い施策、アイデアとしてよいと思うものはありますか。[あてはまるものすべてを選択]

- 看護職全体のブランディングに繋がる動画作成・発信
- 看護協会の役割や活動についての周知強化
- 看護協会の活動成果に関する周知強化
- 看護学生への看護協会の活動についての周知強化
- 看護職相互の交流・ピアサポートの強化
- 看護学生や看護職の就学・資格取得に関する支援強化
- 看護職賠償責任保険の補償内容の充実化
- 地域のイベントへの参加・出展頻度の増加
- その他(具体的に:)
- 特になし

Q36 今あるサービスのほかに、どのような活動や会員サービス(看護業務に役立つサービスなど)があれば、入会を継続したいと思いますか。ご自由にご記入ください。

【日本看護協会への期待について伺います】

Q37 あなたがこれから日本看護協会に期待することは何ですか。ご自由にご記入ください。

調査票はこれで終わりです。お忙しい中ご協力をいただき、ありがとうございました。